

国際政治研究の先端 13

日本国際政治学会編

日中の誤認知と相互不信の再生産のメカニズム……………張	雲
韓国輸出志向工業化の初期条件の形成……………高	賢来
朴正熙の核開発計画と米国外交……………劉	仙姬
農業貿易自由化交渉と消費者……………長	久明日香
権威主義体制、独裁者、戦争 ——中越戦争を事例として……………林	載桓
米国通商政策における利益集団と制度の交錯……………富	田晃正
「休戦ライン」としての核不拡散体制……………濱	村仁
フランスにおけるアルジェリアに関わる 「記憶関連法」……………大	嶋えり子
力の非対称性の逆説……………松	岡智之
キプロス危機とイギリス外交……………伊	藤頌文
〈書評論文〉	
国際政治思想研究所の所作と射程……………高	橋良輔
単極世界の国際政治理論……………野	口和彦
〈書評〉	
ジャン＝ピエール・バ著	
「バルブーズの作ったもの」……………加	茂省三
松田武著	
「対米依存の起源」……………玉	腰辰己

国際政治

184